



聞いたことがありませんか？

「ポリファーマシー」

薬剤科 科長 久田 勢津子



「ポリファーマシー」とは、多くの薬を飲むことが原因で副作用が起ることや、薬を正しく飲めなくなる状態を言います。単に飲んでいる薬の数が多いいことではありません。

A 当院に入院される患者さんのうちの約4割の方は、入院前に6種類以上の薬を飲んでおられます。特に、高齢になると、複数の病気を患っている人が増えます。病気の数が増え、受診する医療機関が増えることで、飲む薬が増えていきます。

Q なぜ、飲んでいる薬が増えるの？

Q なぜ、高齢になると副作用が起りやすいの？

A 高齢になると、肝臓や腎臓の働きが弱くなり、薬を分解したり、体の外に排泄したりするのに時間がかかります。また、薬が増えると、薬同士が互いに影響し合うこともあります。そのため、薬が効きすぎたり、効かなかったり、副作用が出やすくなったりすることがあります。

Q 気になる症状があったらどうすればいい？

A 薬を飲んでいて、「なんか変だな」「いつもと違う」など感じることはありませんか？もし、気になる症状があっても、勝手に薬を飲むことをやめたり、薬の量を減らしたりはしないでください。薬によっては、急にやめると病状が悪くなったり、思わぬ副作用が出たりすることがあります。必ず、医師もしくは薬剤師に相談しましょう。

Q 医師・薬剤師に相談するときはどうすればいいの？

A 使っている薬は、必ず全部伝えましょう。医師から処方された薬以外でも、毎日飲んでいる市販の薬、健康食品、サプリメントについても伝えましょう。そして、いつ頃から、どのような症状が出てきたのかを伝えましょう。

Q 日頃から、注意しておくことは？

A 以下の3点を心がけてください。
◎かかりつけの医師・薬剤師を持ち、自分が飲んでる薬を把握してもらいましょう。
◎自分の処方されている薬を記す、お薬手帳を持ちましょう。お薬手帳は1冊にまとめておきましょう。
◎薬を飲んで、気になる症状が出た場合は、お薬手帳にメモをしておきましょう。

